

全社横断視点の戦略推進体制

(2019年7月1日現在)

当社はチーフオフィサー制度を導入し、全社横断的な視点で当社が抱える課題の解決に取り組んでいます。2019年には執行役員の任期を一年と定めてミッションの明確化と結果責任をより厳しく追求する経営体制へと変革し、各々がスピード感をもって最後までやり抜くことでNECの実行力の向上をはかっています。

ここでは、全社横断視点で戦略を立案・実行する立場の副社長やチーフオフィサー、ユニット責任者から、それぞれの担当領域における課題とその解決に向けた取り組みを説明します。

 <p>執行役員副社長 石黒 憲彦</p>	<h3>グローバルな社会価値創造型企業として成長するための事業環境の実現</h3> <p>技術の進歩と併せ、制度、政策なども進化していかなくてはなりません。私は、内外の政府、国際機関や企業への渉外・営業活動を通じて、NECがグローバルな社会価値創造型企業として世界の課題解決に貢献し、成長を実現できる事業環境を整備してまいります。また、私はNECがよりスピーディにお客さまの価値最大化を実現できるよう組織文化の改革に取り組んでまいります。</p>
 <p>執行役員副社長 CFO (チーフフィナンシャルオフィサー) 森田 隆之</p>	<h3>2020年度営業利益（調整後）1,650億円の実現に向けて</h3> <p>私はCFOとして、NECが市場に対して約束した中期営業利益目標の達成に向けたさまざまな取り組みをリードし、継続・強化してまいります。特に、収益面で課題のある事業の収益改善施策を確実に実行して結果につなげるとともに、成長領域を含め事業のスピードアップのためのアライアンスやパートナーシップを積極的に推進してまいります。</p>
 <p>執行役員副社長 グローバルビジネスユニット担当 熊谷 昭彦</p>	<h3>真のグローバルカンパニーを目指して</h3> <p>NECがグローバルな舞台で戦うにはさらなるスピードと失敗を恐れないチャレンジスピリットが必須です。そのために、まず新たなグローバル人事戦略に取り組めます。ダイバーシティに富んだグローバルな組織を活用し、世界各国にいるNECの社員がそれぞれプライドとモチベーションをもってフルに活躍できるような環境づくりと人材育成を通じて勝ちにこだわるカルチャーを築きます。</p>
 <p>執行役員常務 CDO (チーフデジタルオフィサー) 石井 力</p>	<h3>新たなデジタル時代に向けて、新たな価値を創造する</h3> <p>AI、IoTなどデジタル技術の急速な進展は一過性のトレンドではなく、社会を根本から変えるものです。私はCDOとして新たなデジタル時代を見据え、NECのデジタルトランスフォーメーション(DX)を高度化・推進するだけでなく、NECの持つAIや生体認証などの技術やアセットを最大限に活かしてイノベーションを継続的に実現するエコシステム構築を加速し、新たな価値の創造に取り組んでまいります。</p>
 <p>執行役員常務 CHRO (チーフヒューマンリソースオフィサー) 松倉 肇</p>	<h3>人事改革・文化改革の実行</h3> <p>NECがグローバルに成長し勝ち続ける集団にするために、私は、社会感度が高く、多様性のある人材の確保と育成に注力します。社員がいきいきと活躍し、自律的に成長すれば、必ず企業は成長します。社員の活躍の環境を整え、企業文化の改革を進めることこそがNECの成長につながると確信し、人事改革・文化改革に邁進する1年とする所存です。</p>
 <p>執行役員常務 CIO (チーフインフォメーションオフィサー) 兼 CISO (チーフインフォメーションセキュリティオフィサー) デジタルビジネスプラットフォーム ユニット担当 小玉 浩</p>	<h3>Digital Inclusionな社会の実現を牽引</h3> <p>私は、デジタルの恩恵で一人ひとりが輝ける社会の実現を目指して、NECの経営戦略上の重要テーマである3つのチャレンジに取り組み、Digital Inclusionな社会の実現を牽引します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 多様な能力を引き出すデジタルワークプレースの実現 ② 変革に柔軟に対応できるリアルタイムなデジタル経営基盤の構築 ③ 高度なサイバーセキュリティ対策の実施

 <p>執行役員常務 CTO (チーフテクノロジーオフィサー) 中央研究所担当 西原 基夫</p>	<h3>事業価値の源泉となる技術競争優位の構築</h3> <p>デジタルトランスフォーメーション(DX)が加速するなか、NECは大きな社会価値を生み出し、新たな事業を導く技術創出力を有しています。一方、周辺技術も含めた骨太化、外部技術の積極導入、スタートアップ並みの事業化スピードなど、改善すべき課題もあります。私は、社内外の人材・資金を柔軟かつダイナミックに利活用する「エコシステム型R&D」を推進し、一段ギアアップしたスピードで価値創造を行うNECへ変革します。</p>
 <p>執行役員 クロスインダストリーユニット担当 受川 裕</p>	<h3>「Society 5.0」の実現に向けた官民連携や異業種連携による新事業開発</h3> <p>「Society 5.0」の実現に向けた官民連携や異業種連携による新事業開発を柔軟かつ迅速に進めるため、クロスインダストリーユニットを2019年4月に新設いたしました。事業検証から事業開発、初期の事業展開までのフェーズを担当し、当初はスマートシティ、モビリティ、ファストラベル、パブリックセーフティネットワークの各分野での事業開発に注力いたします。</p>
 <p>執行役員 CMO (チーフマーケティングオフィサー) 榎本 亮</p>	<h3>デジタルトランスフォーメーション(DX)時代に「変革力ある」NECを確立</h3> <p>NECは、「信頼できる」ことに加えて、私たちのコアコンピタンスである「技術力がある」という観点でも高くブランド認知されています。一方で、「変革力がある」というテーマではまだ期待するレベルには到達していません。私は、自社のDXを推進するとともに、お客さまやパートナーとの共創を通じてDXの革新的事例を創り上げ、NECの変革力に対する認知を高めていきます。</p>
 <p>執行役員 CLCO (チーフリーガル&コンプライアンスオフィサー) 小幡 忍</p>	<h3>コンプライアンス活動を通じてNECグループのインテグリティを高める</h3> <p>NECグループでは、コンプライアンスを経営上の最重要課題としてとらえ、その重要性を経営層が常々発信しています。加えて、当年度からは、コンプライアンスをリーダーシップのひとつと位置づけ、各組織の長がオーナーシップをもって組織内に推進・浸透させる体制へと変革しました。私は、従業員・役員が常にインテグリティの精神をもって業務に取り組めるよう、コンプライアンスの徹底に努めます。</p>
 <p>執行役員 ビジネスイノベーションユニット担当 藤川 修</p>	<h3>NECの強いアセットを新たな社会価値の創出につなげる</h3> <p>当年度、NECはこれまでにない取り組みとして、dotData社とNEC X社をシリコンバレーに設立しました。また、今年はAIを用いた免疫治療領域の創薬事業への参入を決定しました。私はこうした斬新な取り組みを通じ、研究所の優れた技術をベースとする新事業を創出して社会課題を解決し、その事業価値を高めることによってNECの新たな成長を担う柱づくりに全力で取り組みます。</p>
 <p>執行役員 CSCO (チーフサプライチェーンオフィサー) 清水 茂樹</p>	<h3>サステナブルなサプライチェーンで成長を加速させる</h3> <p>サプライチェーンに関するリスクは、同時に機会でもあります。私は、サプライチェーンに関わるすべてのステークホルダーのみならず、協働と共創を通じて、End to Endでのサプライチェーンの効率化・最適化に注力します。そして、環境や人権にも配慮したサステナブルなサプライチェーンを構築することにより、NECグループの成長の加速と、品質・安全性の向上を実現します。</p>

当社の執行役員に関する詳しい内容は、下記URLをご覧ください。
[URL https://jpn.nec.com/profile/corp/executives/svp.html](https://jpn.nec.com/profile/corp/executives/svp.html)